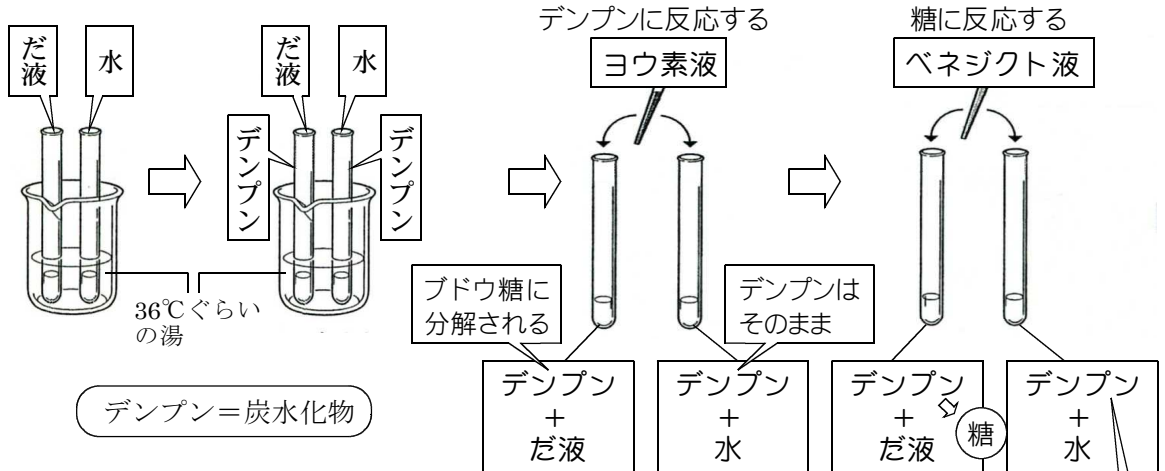
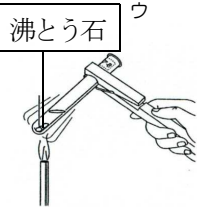


だ液のはたらきを確かめる実験



エ

熱するときは沸とう石をいれ試験管を火の上で左右にこきざみに振って突沸に注意する。



デンプンはだ液によってブドウ糖に変えられてしまうのでデンプンはもう存在しない

デンプンは水によっては変化しないのでそのままデンプンは存在する。

デンプンはそのまま

ヨウ素液
ア

デンプンがあるかを調べる。あれば青紫色に変化する。

ベネジクト液
イ

糖があるかを調べる。液体に加え加熱すると、糖があると赤かっ色の沈殿物ができる。

試験管	ヨウ素液を加えた	ベネジクト液を加えて加熱した
だ液 + デンプン ブドウ糖に変えられる	オ 変化なし カ デンプンがなくなった だ液によりデンプンが分解され糖になりデンプンがなくなったから	ケ 赤かっ色の沈殿ができた コ 糖がある だ液によりデンプンが分解され糖ができたから
水 + デンプン デンプンはそのまま存在する	キ 青紫色になった ク デンプンがある 水によりデンプンは分解されずデンプンのままだから	サ 変化がなかった シ 糖がない 水によりデンプンは分解されずデンプンのままだから

問題1 試験管を36℃ぐらいの湯の中に入れたのはなぜか。

ス 消化酵素はそのぐらいの温度のときが最もはたらきがさかんだから。

問題2 だ液を入れた試験管と水を入れた試験管で実験するのはなぜか。

セ デンプンがだ液によって変化することを確認するため。

問題3 問題2のような実験を何というか。----- 対照実験

問題4 結果からだ液にはどのようなはたらきがあることがわかるか。

タ デンプンを(ブドウ)糖に分解するはたらき。